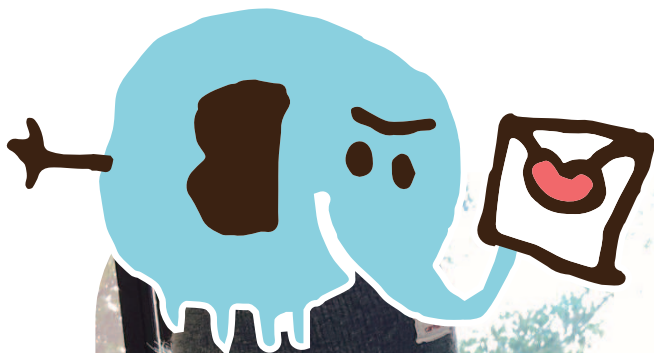


ASOLETTER

あそれたー vol.04



●特集

知ってるようで知らないかもしれない

EPA職員のこと

●あそがたり
辻井綾乃さん

●ゆくとしくるとし2020-2021

●コノダレヤロ

カットの日には2階フロアに準備したスペースで、お一人ずつ髪を切ってもらいます。
さっぱり、にっこり☺ 【あそか2020.10月】

ゆ

く

と

し

く

る

と

し

2020 → 2021

一年を振り返って、理事長に話をお聞きしました！

2020年を漢字一文字で表すと？

耐

経営改善計画での取り組み、コロナ感染予防など苦境に挑む「忍耐」があってこそ明るい未来が期待できます。

今年読んだ本で面白かった、おすすめの本はありますか？

「1493」チャールズ・C. マン／布施由紀子 訳

2016年発売とちょっと古い本ですが、1492年のコロンブスのアメリカ大陸到着後、新旧大陸、世界を人、モノが行きかいグローバル化が本格化し、世界を変えていく姿を描きます。目からウロコ！素晴らしいノンフィクションです。



2020年の3大ニュース

一年前に戻れるとしたら、やっておきたかったことは？

翌年度の予算のとりまとめの仕組みづくりに取り組めていたら経営改善状況も早められたかな？とも思います。

- 👉 施設内でのコロナ感染の発生
- 👉 経営改善の策定と取り組みの推進
- 👉 私ごとですが、初孫の誕生

2021年にむけて、ひとことメッセージをお願いします！

2020年は経営改善計画を策定し、新たな明照会に向け第一歩を踏み出しました。職員の皆さんには、「五つの視点」から様々な取り組みをお願いし、ご苦労をお掛けしていますが、その成否が明照会の在り方を左右する大事な取り組みです。息の永い取り組みになりますが、すでに想像以上の成果をあげつつあります。「耐」えてこそ明るい未来があります。

2021年も引き続きのご協力をよろしく願います。

本部の方々にも2020年の漢字を選んでいただきました！

藤田本部長

祈

昨年は新型コロナウイルスに振り回された最悪の一年間でした。当法人でも感染者が確認されましたが、職員一丸となって感染拡大を防ぐことができ、ホッとした記憶があります。法人職員皆様の健康を祈念する意味を込めて「祈」としました。

後藤事務局長

新

定年退職し、新しい職場、新しい環境で、新しい出会いがあり、清新な気持ちで第二の人生を歩み始めました。(新しい生活様式の「新」でもあります)

細井部長

伸

法人内の事業所や管理者の成長がとても感じられ、更なる伸びしろも発見できた一年だったと思います。

吉永誠二部長

改

経営改善計画ができたこと、設備の改修が進んだこと、来年度に向けて大規模修繕計画に目途が付いたため。

吉永望部長

歩

母が亡くなり、悲しみや後悔ばかりで死を受容できない自分に向き合いながら、一歩ずつでも歩みを進めることを意識した一年でした。



今月の あそがたり

ウバラ特養

辻井綾乃さん

「介護福祉士」という職業を知ったのは中学で進路を考え始めたとき。はじめて福祉関係の仕事につきたいと思ったのは小学校4年生のときです。両親が働いているあいだいつも一緒にいてくれる大好きなおじいちゃんが、もし施設に入ることになったとき、自分がその職員になればずっと一緒にいられるかな…と考えたことと、介護関係の仕事をしている母の仕事先について行って、施設のおじいちゃん



おばあちゃんと遊んでいたことがすごく楽しくて、私もここで働けたらいいなと思っていました。専門学校に進んで、認知症の人がとる行動は不思議に見えてもすべて意味があることを知って、もっと認知症の人と関わりたいと思うようになり、就職もグループホームを考えました。家から近くてユニットケアをしている施設を探してあそか苑に見学に来たときは、最初、迷路みたいなどこやなって思いました(笑)。ほかの施設も見ましたが、採用担当の方がとても親切だったので、あそか苑にしよう決めました。半年経った今、業務で任せてもらうことが増えたり、利用者さんのことが少しわかってきて話せることが増えたり、居室担当している利用者さんから大事にされていると感じる出来事があったり、職場のみなさんがあたたかく声かけをしてくれたりと楽しいことや嬉しいことがいっぱいあります。先輩たちの頑張る姿を見て、私も頑張ろう!と思う日々ですが、仕事だから仕事をするんじゃなく、なによりも利用者さんにとってここが「家」であってほしいから、その人のできることを普段からよく見て分かったうえで、その人が生活をしていると実感してもらえるように、「サポートする人」になりたいです。

記事の全文は「あそがたり」で近日公開。お楽しみに！

EPA 職員のこと

知ってるようで知らないかもしれない

うちに来ているあのひとはどこの国の人？
 そもそもEPAってどんな制度だっけ？
 EPA職員はどれぐらい日本にいられるの？
 …など、基本の情報を集めました！

Q 01

EPA(経済連携協定)とは？

▶ 幅広い経済関係の強化を目的とする協定です。
 物流だけでなく、お金や人の移動など、さまざまな分野での協力関係を結んでいます。



Q 02

どこの国から来ているの？

▶ インドネシア、フィリピン、ベトナムの3カ国です。
 2009年にユリさんが初のEPA職員となってから12年、累計18名の候補生があそか苑と関わってきました。2020年12月現在、あそか苑にはインドネシアの方1名、フィリピンの方6名が在籍しています。



Q 03

特定技能、技能実習とEPAの違いは？

▶ 来日の目的が違います。

EPA候補生は日本で実務経験を積み、介護福祉士資格を得ることが一番の目的であり、就労を目的としていません。

特定技能 … 就労が目的
 技能実習 … 実習が目的
 EPA … 資格取得が目的

Q 04

何年間日本にいられるの？

▶ 滞在できるのは4年間です。

滞在中に介護福祉士に合格できれば日本で永続的な就労ができます。合格できなければ帰国することになります。(ただし一定の条件で特定技能に移行し、最長で5年間就労することも可能です。)

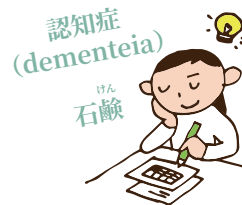


Q 05

国家試験の問題は日本人と同じなの？

▶ 特例が適用されますが問題の内容は同じです。

3つの特例 (筆記試験)
 → 難しい漢字にふりがな
 → 試験時間が1.5倍
 → 疾病名に英語を併記



「空気を読む」ってわかりますか？

なにそれ？

はいはい！

…厚生労働省のガイドブックに、

“日本では、あえて言葉にせず「空気を読む」「意図を察する」ことで意思疎通を図ることがありますが、国によってはこのような文化はありません。”

とあったので、実際にお聞きしてみました。

それはなんぞ？という反応だったのはフィリピンのスタッフ。「思っていることはハッキリ言わないと気になるばかりで分からないからどうしようもない、絶対にハッキリ言ったほうがいい！」とのこと。たとえ雰囲気は感じ取っても、ハッキリわかるまで同調はしない、曖昧回避の文化なんですね。

一方、もちろん分かるよ！という反応だったのはインドネシアのスタッフ。感覚として分かるし、実際に空気を読むこともあるとのこと。共感のプロセスが日本人と似ているのかもしれない。

「空気を読む」ことひとつをとっても、文化圏によって感覚はさまざま。さらに言葉の壁もある中で、違った文化の中で働くことは、大変なことだと感じました。

そんななかコミュニケーションをとる上で、私たちにも簡単にできる工夫があります。

1. ゆっくり話すこと
2. シンプルな表現で話すこと
3. 短い文に区切って話すこと
4. ～です。～ます。で話し終えること
5. あいまいな表現を避けること

基本的なことですが、5年以上務めているベテランの職員でも、早口で指示されると時々わからず聞き返す場面もあるそうなので、あそか苑の職員に限らず、外国人の方と日本語で話す機会があれば、このポイントを思い出してみるといいかもしれません。

フィリピンもインドネシアも信仰心の厚い国

フィリピンはアジアで唯一のキリスト教国家。最も重要なクリスマスイベントは、9月から準備がはじまり、盛大にお祝いします。国民の85%がキリスト教徒、それ以外も何かしら信仰を持つ人がほとんどです。

インドネシアで大多数を占めるイスラム教では、豚を食べない、お酒を飲まない、女性は髪を隠す、などが有名ですが、1ヵ月間、日の出から日没まで水や食べ物を口にしない「ラマダン(断食月)」もよく知られています。断食中の方の前ではできるだけ飲食を控えたり、ひとこと断ってから食事をする、などの配慮があると親切ですね。断食明け大祭のレバランは、盆暮れ正月がいつべんに来たような休暇だそうです。

言葉や文化が違っても、相手の立場に立ってコミュニケーションを取ることができれば、最高じゃないでしょうか！



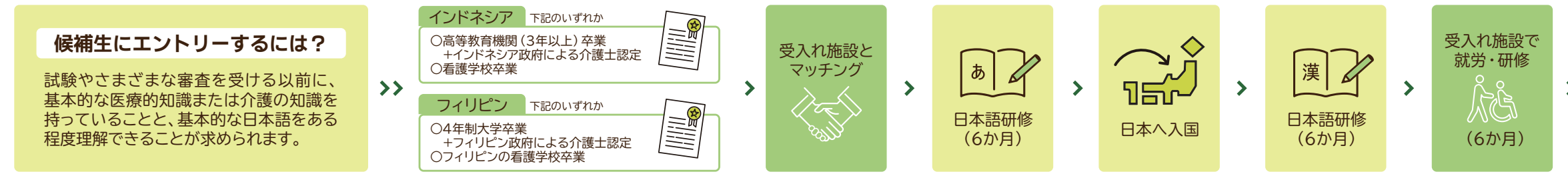
あそか苑での取り組み
 2009年 EPA候補生の受け入れ開始
 受け入れ当初は職員が候補生の勉強をみていました。2015年頃より、現場経験もあるダン先生に、日本語の勉強とあわせて、国家試験の勉強も教えていただくようになりました。

2019年 共育委員会でEPAの問題解決に着手
 介護の専門用語が難しい/勤務のため毎日勉強できない/日本で介護の仕事を続けるモチベーションが保てない…などさまざまな課題がありました。
 具体的な取り組み
 ● 困りごとの聞き取り
 ● 英語マニュアルの作成 ※
 ● 管理者へのアンケート調査
 ● 日本語の先生との連携強化

※ 実際に作成したマニュアルをご覧ください
 困りごとの中でも優先度の高いものについて、EPAのスタッフとともに作成。
 腰痛予防 (1MB) 地震対策 (2MB)

2020年 国家試験勉強のサポート強化
 オンライン環境も活用しながら、毎日1時間勉強する習慣がついてきており、たたいま絶賛継続中！
 今年はウェンさん、イサさん、デイシーさんが受験！

第33回介護福祉士国家試験は
 2021年1月31日(日) 実施！
 勤務の配慮等のご協力と
 あたたかい応援お願いいたします！



コノコダレヤロ

Who is this child ?

エピソード

写真は幼稚園年少の頃です。

スポーツ大好きで、幼少期は水泳と少林寺拳法を習い、コマなし自転車も教えてもいないのに3歳で勝手に乗っていたとのこと。かわいいフリフリの洋服やスカート、ピンクや赤色が大嫌いで、ひとつ上の兄のまねをして、ショートパンツで過ごしていましたが、学校行事の時はさすがにスカートを履かされ、ふてくされていたのを憶えています。長髪はこの頃で最後、以降はショートスタイル一本です。なので、小学校の間は出かける先々で「僕ちゃん？」など僕～、僕～と呼ばれ、初めは否定していましたが、だんだん面倒くさくなり「そうでーす」と返事したりして。今でも男っぼいので、利用者の方に男性に間違われることも多々ありますが、今は「女ですよ～」とちゃんと伝えています。

こんな感じで体を動かすことは大好きでスポーツに関しては負けず嫌いでしたが、学生の頃は不勉強だったので今まさに勉強しておけばよかったと悔やんでいる最中です。



♥️ 好きな食べ物は、ら～めん！
(煮干し系と担々麺)

※ 答えは見開きページの右下



社内報で取り上げるテーマ・アイデアを募集しています

イベントを取材して載せてほしい

〇〇のアンケートでみんなの意見を知りたい

こんなコーナーがあったら楽しそう

この人がスゴイので取材してほしい

あの人の小さい頃の写真を見てみたい

ちょっとした思いつきも歓迎です。
ぜひアイデアをお寄せください！

アイデアは
こちらから
お寄せください



表紙写真も募集中！